

今後の検討項目

令和 4 年 11 月 8 日
内閣府男女共同参画局

- ・ 企業における女性活躍の推進（女性役員の登用促進等）
- ・ 独立行政法人国立女性教育会館の拠点機能の強化、各地の男女共同参画センターを通じた女性デジタル人材、女性起業家の育成に向けた取組の強化・充実
- ・ 男女間賃金格差の情報開示と今後の対応
- ・ 女性の視点も踏まえた社会保障制度・税制等の検討
- ・ ひとり親等の困窮する女性に対する支援
- ・ L字カーブ解消に向けた取組（リカレント教育、男性の育休取得、柔軟な働き方の推進、ケアエコノミー）
- ・ 科学技術分野における女性活躍の推進
- ・ 夫婦の氏に関する具体的な制度の在り方

今後の専門調査会では、「女性版骨太の方針 2022」で今後検討することが決定されている課題について、着実なモニター（監視）を行うとともに、議論の進展や社会情勢に応じ、新たな課題・対応等について議論を深めていくことで、「女性版骨太の方針 2023」につなげ、「G7 男女共同参画・女性活躍担当大臣会合」における国際的な政策議論に発展させていきたい。